

通信

NO. 4
平成25年5月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177



こども

1649万人

「こどもの日」に合わせて総務省が発表した、15歳未満の子どもの推計人口(今年4月1日現在)は、前年に比べ15万人少ない1649万人で32年連続の減少となり、1950年以降の統計で過去最少を更新した。内訳は、男子が844万人、女子が804万人。

3歳ごとの年齢区分で見ると、12~14歳が355万人、9~11歳が340万人、3~5歳が317万人、0~2歳が316万人で、年齢が下がるごとに人数が減少している。

スタ コ ラ

弊社スタッフのコラム。
ホームページに定期的に
アップしています。

ISO9001 審査雑感

神戸 暁

この四月、私がコンサルタントとして関わっている二つの企業が相次いでISO9001の認証審査と維持審査を受けた。

この二つの審査は、会社も審査員も異なっており、審査の手順、厳格さ、着眼点が多少異なっていたが、それなりに納得ゆくものであった。

ISO9001は、よい製品やよいサービスを顧客に提供するための管理の仕組み(Quality management systems)の国際規格であり、規格が要求する通りの仕組みが出来ていれば国際認証が与えられる。

そして認証取得後も一年ごとに維持審査を受け、三年毎に更新審査を受けなければならない。

審査はいずれも①ルールはあるか、②ルールは実行されているか、③効果的に行われているか、という観点から調査されるが、維持審査が二度三度と回を重ねるごとに審査の重点は③に移っていく。

1990年代、EU統合を契機にISO9001は急速に広まり、日本でも多くの企業が認証取得を目指した。最初、審査員は、規格の訳文に忠実であろうとするあまり、ずいぶんと無理、難題を要求し、審査を受ける側も勉強不足で過剰な準備をしたものである。

しかし、経験を積むに従って、審査側も被審査側も多くの矛盾に気づき、近年では好ましい審査のあり方に変わってきた。その裏には、審査会社が増えすぎて、理不尽な要求をするような審査

員、審査会社は淘汰されるという事情もあるが、何よりもISO9001は経営のツールとして役立つものであるべきだとお互いが気づき始めたことによる。

確かに、ISO9001の①目標管理②マネジメントレビュー③内部監査の三つの特徴的な活動は、企業経営にとって大きく役立つことは間違いない。

国際規格には、ISO14001(環境)、OHSAS18001(労働安全)、ISO50001(エネルギー)など多くのマネジメントシステム規格があるが、9001と同じような手法で取り組むことが可能である。

ある審査員は私に囁いた。

審査の手始めに作業現場を視察するが、ここでの印象が評価の大部分を占める。

整理整頓、作業員の服装、言葉遣い、正しい作業手順、これだけを見れば認証に値するか否かは決まる。

文書や記録などがいかに整っていても作業現場が出来ていなければ何の意味もない。

そして、企業トップがISOを導入してよかったといってくれば、それに勝る喜びはない。と

睡蓮

の季節



庭の睡蓮鉢に今年最初の花が咲いた。

この睡蓮鉢は、野鳩や雀の水場となっている。

また、庭の隅の砂地は、雀の砂浴び場ともなっている。



映画大好きの山ちゃん、毎回、自分の言葉で執筆します。

屋根裏部屋の マリアたち

2010年 フランス映画
監督：フィリップ・ル・ゲイ
出演：ファブリス・ルキーニ
サンドリーヌ・キベルラン
ナタリア・ベルベケ



この映画の感想は、“何が本当の事か” また、“人生の中で、いつ恋に落ちるかわからない”、と何となく暖かくなる作品として仕上がっていると感じた。

物語は1960年代を背景に、マリアは軍事政権下のスペインを離れ、パリに住む叔母を頼りにフランスへとやってくる。

マリアは、叔母らと共にアパートのオーナーで、株式仲買人の家でメイドとして働くことに。

人生半ばを過ぎた妻子持ちの資産家とマリアらスペイン人メイドたちが、意気投合し、事あるごとに交流し、人間関係を深めていく。

そして、恋も芽生えて…。

弊社への質問や要望、身近な情報や感想など、お気軽にお寄せください。

くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

【介護職員セミナー】

心を寄せる介護

S市認知症グループホーム連絡協議会の介護セミナーに「高齢者介護と職員の倫理観」と題してお話する機会を得た。

セミナーは夜7時からだったが、会場には、約100人の介護職員のみなさんが参加され、熱心に耳を傾けていただいた。と思う。

今回のセミナーを準備する過程でいくつか勉強させられたことがある。

一つは、「認知症」について、医学の進歩や臨床研究によっていろいろ解明されているが、まだまだ不十分であること。

二つは、その中で介護現場では、手探り状態の日々に、精いっぱい介護の実践があること。

三つは、さらに、その中でも「拘束ゼロ」の取り組みなど、人間の尊厳を守る介護が追及されていること

もともと高齢者介護は、誰もが「健康で長生きしたい」希望を持ちながらも、ご本人にとっては、“心ならず”も介護をうける状況になったもの。

人に対する人による介護サービスを提供する介護職員が、この“心ならずも”に心を寄せることができるかどうかは、その介護職員の倫理観として大切なことだと思う。

現実の介護現場では、まだまだ未解明の部分が多い「認知症」の

介護に、施設・職員を上げて取り組まれている。

その取り組みには、本当に頭が下がるばかりである。

お話をさせていただく機会を得て、改めて。

ヤマボウシの白い花



編集後記

ゴールデンウィークも終わり、すっかり初夏の陽気が続いています。

新入社員の皆さんは、もう会社になれたでしょうか。

研修も終え、これからが本番です。皆さんのこれからの活躍意期待しています。

感想やご意見のあて先は
Eメール

kuma@b-souken.com

FAX 092-409-4177

Relationship & Partnership
Bビジネス総研

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-4094177 FAX092-4094170

Eメール kuma@b-souken.com

URL <http://b-souken.com>